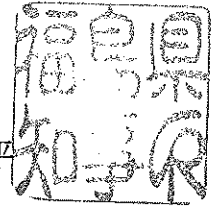


# 新規事業採択時評価に係る 港湾管理者の意見

25河第120号  
平成25年4月23日

国土交通省港湾局長 様

小名浜港港湾管理者 福島県  
代表者 福島県知事 佐藤雄平



港湾整備事業の新規採択時評価等に係る意見照会について（回答）

平成25年4月16日付け国港計第2号で照会のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

小名浜港国際物流ターミナル整備事業の新規採択に係る県の意見

小名浜港は、背後に立地する火力発電所等への石炭供給拠点として、東北地方のみならず東日本地域を支えるエネルギーの安定的かつ安価な輸入において重要な役割を担っております。

しかしながら、小名浜港へ入港する石炭輸送船の大半については、満載喫水に対応する岸壁がないため、積載量を減らすなど喫水調整を強いられております。更に世界的に船舶の大型化が進んでおり、この傾向は今後顕著になると考えております。また、大型輸送船に対応する大水深岸壁（水深13m以上）が不足しているため、石炭輸送船の滞船が常態化し、東日本大震災の影響もあって深刻化してきており、非効率な物流体制となっております。

本事業は、これら小名浜港における課題を解決し小名浜港周辺の経済活性化に寄与するのみならず、複数港寄り等を活用した広域的・効率的な海上輸送ネットワークの形成によって東日本地域に広く効果を及ぼすものであります。本県としても、小名浜港が石炭の輸入拠点としての役割を果たすために、官民連携のもと、複数港寄り等を促進するための取り組みを計画的に進めていきたいと考えております。

つきましては、東日本地域の石炭エネルギー供給を支える拠点港としての機能強化と、東日本大震災からの復興を支援するため、当該事業の早期予算化をお願いします。

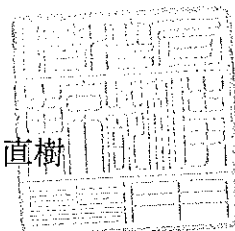
なお、当該事業を進めるにあたりましては、更なるコスト縮減など、総事業費の抑制に努めるとともに、県の費用負担に対する全面的な財政支援と、事業が完了するまでの安定した予算の確保により早期完成をお願いします。



25港港計第9号  
平成25年4月22日

国土交通省港湾局長 様

東京港港湾管理者 東京都  
代表者 東京都知事 猪瀬 直樹



港湾整備事業の新規事業採択時評価等に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、平素から、東京港の振興と発展にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東京港は、国内最多の外貨コンテナ取扱個数を誇る拠点港湾として、また、国内海上輸送の拠点港湾として、首都圏4,000万人の生活と産業に欠くことのできない生命線の役割を果たしております。

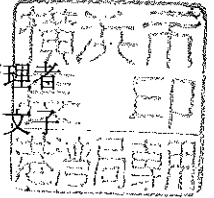
東京港は、利用者ニーズが高く、世界同時不況後もコンテナ取扱量が増大し、平成24年では424万TEUとなる等、施設能力が限界状態に達しています。そのため、外貨コンテナふ頭のヤード内はコンテナで満載状態、周辺臨港道路は慢性的な交通渋滞が発生しています。これらの問題を解決し、激化する国際港湾間の競争を勝ち抜くためには、港湾施設の能力拡大などが喫緊の課題となっております。

これらの喫緊の課題に対応するためには、Y3ターミナルを含め中央防波堤外側地区のコンテナふ頭を整備し、コンテナ取扱能力を向上させることが必要であり、平成25年4月16日付国港計第2号の照会については、異存ありません。

港湾企第87号  
平成25年4月22日

国土交通省港湾局長

横浜港港湾管理者  
横浜市長 林 文子



港湾整備事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

日頃から、本市港湾行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

横浜港は国際コンテナ戦略港湾として、国際積替貨物の獲得により、貨物量の拡大を図り、国際拠点港の地位を確立する使命を担っております。

東アジアのハブポートとして生き残っていくために、国際競争力強化に向けた施設整備が必要であり、南本牧MC-4コンテナターミナルは、横浜港、ひいては我が国港湾の命運をかけた国際コンテナ戦略港湾施策の基幹施設です。

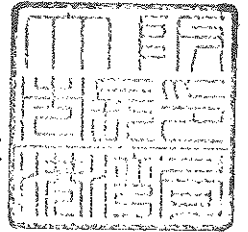
基幹航路に就航するコンテナ船の大型化が急速に進展する中、順次竣工してくる超大型船の寄港に備えるためにも、現在整備を進めているMC-3と連続する大水深バースとして整備・運用することが可能であるMC-4の早期整備が必要となります。

このことから、平成25年4月16日付け国港計第2号の照会に対しては、異存ありません。

大港湾第 184 号  
平成 25 年 4 月 22 日

国土交通省港湾局長 様

大阪港湾管理者 大阪市  
代表者 大阪市長 橋下 徹



港湾整備事業の新規事業採択時評価等に係る意見照会について（回答）

平素より大阪市の港湾行政推進に格別のご理解とご尽力を賜り、心より御礼申しあげます。

さて、平成 25 年 4 月 16 日付国港計第 2 号で照会のありました「阪神港国際コンテナ戦略港湾機能強化事業」につきましては、大阪港の発展にとって必要不可欠であり、平成 25 年度の新規事業として確実に採択されますよう、よろしくお願いいたします。

大阪港では、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」として、基幹航路の維持拡大による国際競争力の強化に向け、阪神インランドコンテナデポの設置や関西イノベーション国際戦略総合特区を活かした産業・物流企業の誘致など様々な施策に、官民一体となって取り組んでいるところです。

しかしながら、基幹航路を運航する大手船会社は、コスト削減による競争力強化を図るため、コンテナ船の大型化を急速に進めており、大阪港夢洲コンテナターミナルの現在の施設では、岸壁水深や延長、荷さばき地面積などが不足し、大型コンテナ船の寄港要望に応えることができないなど、将来の発展に支障をきたす事態となっています。つきましては、こうした大阪港における喫緊の課題を解決するため、夢洲コンテナターミナル C12 の延伸整備について、平成 25 年度新規事業として是非とも採択されますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。



神み技計第 69 号

平成 25 年 4 月 23 日

国土交通省港湾局長 様

神戸港湾管理者 神戸市

代表者 神戸市長 矢田 立郎



港湾整備事業の新規事業採択時評価等に係る意見照会について (回答)

平素より神戸市の港湾行政推進に格別のご理解とご尽力を賜り、心より御礼申しあげます。

さて、平成 25 年 4 月 16 日付国港計第 2 号で照会のありました「阪神港国際コンテナ戦略港湾機能強化事業」につきましては、神戸港の発展にとって必要不可欠であり、平成 25 年度の新規事業として確実に採択されますよう、よろしく願いいたします。

神戸港では、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」として、基幹航路の維持拡大による国際競争力の強化に向け、内航フィーダー支援を中心とした集荷施策など様々な施策に、官民一体となって取り組んでいるところです。

しかしながら、基幹航路を運航する大手船会社は、コスト削減による競争力強化を図るため、コンテナ船の大型化を急速に進めており、神戸港六甲アイランドコンテナターミナル RC-6/7 の現在の施設では、岸壁水深が不足し、大型コンテナ船の寄港要望に応えることができないなど、将来の発展に支障をきたす事態となっています。

つきましては、神戸港における喫緊の課題を解決するため、六甲アイランドコンテナターミナル RC-6/7 の整備について、是非とも平成 25 年度新規事業として採択され、早期に供用開始が可能となりますよう、特段のご配慮をお願い申しあげます。